

文庫めぐり

(5)

横浜市立大学医学情報センター

〔来歴と概要〕 江戸時代中期より明治初期までに発行された和漢方医書四五三点、蘭方医書一二二点、明治初期医書一一二点、計六七七点、冊数にして二一九四冊が収納されている。すべて篤志家の寄贈によるもので、寄贈者の名を冠した、高田文庫、鈴木文庫、平野文庫、喜多嶋文庫、宍戸文庫およびその他よりなる。高田文庫は高田安平氏が戦前好古堂を介して収集されたものと栃木県壬生の医家石崎家に伝わったもの二五八点、一〇九五冊よりなり、江戸時代後期の木活字本、明治初期の医学校教材、医学生ノートなど稀覯本が多数含まれている。鈴木文庫は横浜市の鈴木秋之助氏寄贈で、三五五点三九四冊よりなり、蘭学関係の貴重書が含まれる。平野文庫は富山県高岡市の医家平野秀一氏よりの寄贈で、同家に代々伝わった一一三点、二九八冊の古医書で、蘭学関係の資料が多く含まれる。喜多嶋文庫は甲府に代々医業を継がれた喜多嶋家に伝わったもので、喜多嶋保氏遺族の寄贈による六九点、一〇二冊の古医書よりなり、華岡清洲門人の手記および江戸時代医家の診療記録などが見られる。宍戸文庫は明治の刈谷市の学究宍戸俊治氏の所蔵品の一部で、宍戸昌夫氏の寄贈による一五

点八二冊で、稀覯本を含んでいる。蘭学関係では、杉田玄白自筆の「玄白いましめの文」の原本、二セットの解體新書原本(その一つは中村本として欄外詳細に細字の注が朱筆で入れられ、今後十分な検討を要するものである)、文化二年版の西説醫範提綱釈義初版本、重訂解體新書銅版図全図、高野長英の西説醫原極要巻一、二(写本)、伏屋素秋の和蘭醫話、桂川甫周の和蘭本国外科(写本)、華岡清洲関係門人手記多数、本間元調の瘍科秘録、続瘍科秘録、内科秘録、永富独嘯庵の漫遊雜記の原本、写本、修正版、ホブソンの五種の著訳書、五種のポンペの議義の訳本、写本、プランカルト内科書の写本などが目ぼしいものである。江戸時代和漢医学では本草関係で経史證類大觀本草、紹興校訂経史證類備急本草、本草綱目、本草綱目啓蒙、本草和解、大倭本草、質問本草、救荒本草、北村直寛の弟子のまとめた未刊行本の黄帝内经素問講義写本二八冊を含むほぼ全著作、また明治医学教育資料にも稀覯本が多い。

〔蔵書目録〕 〒236-0004 横浜市金沢区福浦三一九、横浜市大医学情報センター発行、☎〇四五-七八七-二五五七(Fax二五五〇)

〔利用方法〕 医学情報センターに直接問い合わせのこと。

(大島 智夫)